

# NO! リニア

No. 4 4

2011年5月13日  
JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

**リニア方式・南アルプスルート・営業・建設主体はJR東海!**

## 中央新幹線小委員会が最終答申を行う!

**国民から多くの反対意見があるのになぜ答申に反映しないのか!**

5月12日、国土交通省交通政策審議会・中央新幹線小委員会が20回目の会合を開催しました。議題は①「中央新幹線小委員会答申（案）に関するパブリックコメント」結果報告と、②「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」でした。

まず「パブリックコメント」の結果報告では、総数888件（前回996件）のうち「中央新幹線を早期に整備すべき」はわずか16件（前回83件）に止まり、「中央新幹線の整備に反対、計画を中止又は再検討すべき」という意見が648件（前回142件）あったと報告されました。前回にはなかった反対理由として「東日本大震災の影響が収まっておらず、新たな大規模事業を進めるような社会状況になっていない」

「中央新幹線整備にかかる費用、エネルギー、人的資源などは被災地の復興にあてるべき」「原発事故が収束しておらず、今後の電力供給が不透明」と大震災の影響を懸念する意見が出されたことが報告されました。

次の議題「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」では、パブリックコメントで国民から多数寄せられた反対意見を見做すかのように「大震災でバイパス機能を持つリニア中央新幹線の重要性がさらに高まった」として、建設に向けた最終答申を行うことを決定しました。

5月13日の「毎日新聞」によれば、大畠国交相は、今月中にも整備計画の決定を行いJR東海に建設指示を出すと報道されています。一方で「大震災後に乗客減による収益が大幅に悪化したことも、JR東海にとっては誤算」「浜岡原発の運転中止という悪材料も重なった」「需要低迷が長引けば財務基盤が弱体化し開業時期が後ろにずれる可能性も出てくる」とも指摘されています。私たちがこれまで指摘してきた財務体質の脆弱さが注目されているのです。

私たちは、大きな問題を未解決のまま突き進む「リニア中央新幹線構想」に反対し、さらに闘います。

**「リニア中央新幹線に反対」する意見が圧倒的多数!  
大震災の影響は? 電力供給は? JR東海の財務基盤に影響も?**